

新年



西城賢策

三笠市長



飛躍著しい年に

市民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。

令和8年の午年を迎え、ご家族お揃いで、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げます。

今年の午年は、60年に一度の丙午（ひのえうま）ということで、古くから日本にはこの年に生まれた女性は気性が激しいという根拠のない迷信があります。勢いと情熱に溢れた進展の年と言われており、縁起の良い年になるものと思っています。

また、新しいことに挑戦するエネルギーに満ち、仕事や人間関係で大きな成果を得たり、幸運が舞い込んだりする可能性がある年とも言われています。

市民の皆さま、そしてわがマチ「三笠市」にとりまして、飛躍の年になりますことを願うばかりであります。

さて、市としては、昨年、市民の皆さまにご覧いただく機会を創りましたように、念願であった「石炭の地下ガス化による水素製造」の実証に国の採択を得て取り掛かり、計画以上の成果を得ることができ、その模様は市外からも多くの公的機関のかたがたや企業関係者などにもご覧いただきました。

近隣自治体のかたがたはもとより、道内や、中には九州からお越しになられた方もおられ、当市の取り組みが時宜を得たものになっていることを実感しました。

この後は、着実に実験を成功させ、三笠に新しい産業を作り上げること、そしてこの効果により、勢いを失った地域に新たな産業を根付かせることが重要です。

私は、地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素を出さない水素の製造と、これを作り出す過程で発生する二酸化炭素を昔の炭鉱坑道に戻し入れる取り組み、そしてこれを基にした産業の創出に全力を尽くしてきました。その実現が目の前に来ていると実感しています。

今年からは、すでに鉱業権を取得した場所地下100メートルに及ぶ本格的な実証に進むべく、国の補助事業採択へ申請などの準備に入ります。ここ数年で実用化に向け取り組むこととなり、私が提唱してきた4大プロジェクトの他3つのプロジェクトはすでに取り組みられていますので、いよいよ全てのプロジェクトが動き出すこととなります。

例えば、18年前に室蘭工業大学へ伺って、この取り組みを始めてから多くの時間を要しました。当時、石炭は二酸化炭

素を排出する元凶である」と、国に相手にされないところからの出発であり、ようやくここまで来たなと感じています。

これは、ここまでの過程で、具体的な成果をお見せすることができなかった中においても、私を信じ、取り組みを続けてくださった市民の皆さまのお陰であります。心から、お礼申し上げます。

私の言い続けてきたキーワードは、「三笠に未来を創る」であります。

あと少しの努力で、まず二つの産業づくりができるようまで来ました。

マチを安定化するには、最低あと2本の柱が必要だと市職員には言い続けています。

次の柱についても、すでに議論を始めています。

少しづつであっても、着実に、そして愚直に、マチを前へ進めるべく取り組んでいきます。

市民の皆さまのご支援、ご協力を昨年、2026年も引き続きよろしくお願いいたします。

結びとなりましたが、本年が市民の皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心から祈念申し上げます、挨拶いたします。

謹賀

希望あふれる新たな一年に向けて

市民の皆さま、あけましておめでとございます。

健やかで希望に満ちた新春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。

日ごろより、市議会に對しまして温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。市議会を代表いたします。まして、新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、依然として物価上昇、とりわけ米価格の高騰などが市民生活に深刻な影響を与え、不安が広がった一年となりました。

このような状況の中、10月には憲政史上初の女性首相のもと高市内閣が発足し、「強い経済」を柱とする総合経済対策が打ち出されました。地方公共団体が行う物価高対策を支援するための「重点支援地方交付金」の交付や、電気・ガス料金負担軽減支援などを行うこととされておりますが、私ども市議会としても、市民の皆さまに一刻も早く、物価高騰対策ができるようスムーズに議会を進め、市民生活を守るためにできる限り力を尽くして参りたいと考えております。

さて、私ども市議会議員の任期も残すところあと1年4カ月となりました。これからもさまざまな課題に對し、議員間

の議論を深め、積極的な政策提言につなげていくとともに、皆さまにわかりやすく、より開かれた議会を目指し、議会改革にも引き続き取り組んで参ります。

今年2月には議会報告・意見交換会の開催を予定しておりますので、市民の皆さまの困りごとや、まちづくりへのご要望のほか、市議会に對する思いなどを直接お伺いできればと考えております。また、現在、他市の状況を調査しながら検討を進めております議員定数の見直しにつきましても、ご意見を賜りながら、皆さまのご期待に答えられる議会運営を目指していく所存です。

今後、新病院の建設や石炭地下ガス化による水素製造などの大きな計画がいよいよ具体化される段階となりますが、よりよいまちづくりのために、行政と力を合わせ、時には厳しい目をもって監視していくことで、市民の皆さまにとって最大の成果をもたらすよう尽力して参ります。

結びに、この1年が市民の皆さまにとりまして希望にあふれる素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

市長 西城賢策

副市長 右田 敏

議長 武田悌一

副議長 折笠弘忠

議員 青木康博

須河恵介

畠山 宰

谷内純哉

教育委員会 長 小田弘幸

選挙管理委員会 長 枝廣榮美

代表監査委員 鈴木信之

農業委員会 会長 澤田益治

公平委員会 委員長 安藤雄一

固定資産評価審査委員会 委員長 中村 剛



三笠市議会議長
武田悌一

